



CSR報告書2012

トヨタ部品茨城共販株式会社

◆目次

目次／会社概要

CSR方針／環境方針／推進体制 1P

トップインタビュー 2-3P

2011年度の活動

主な活動 4P

トピックス 5P

環境目的目標の達成状況 6P

環境月間の取組み 7P

社会貢献活動 8-9P

2005年からの環境保全活動と成果

省資源・省エネルギー 10P

廃棄物発生抑制 11-12P

主なエコ商品の販売 13P

CO2削減効果 13P

◆発行年月

2012年7月

◆報告対象期間

2011年度(2011年4月～2012年3月)を対象としていますが、一部、2011年度以前及び2012年度以降の活動についても掲載しています

会社ビジョン

社会において存在感があり 社員が誇れる会社

会社理念

1. 正直でお客様に信頼されること
1. 地域社会に貢献すること
1. 明るく働きがいのある職場をつくること

社訓

1. 良心はすべての基礎である
2. なにごとも誠意をもって努力する
3. つねに研究を怠らず、新しい創意工夫をする
4. 仕事に精通すると共に、立派な社会人であること

会社概要

社名	トヨタ部品茨城共販株式会社
設立	1981年8月25日(1982年3月1日創業)
本社	〒311-3157 茨城県東茨城郡茨城町小幡702-1
営業拠点	本社、水戸、日立、土浦、下館、鹿嶋、藤代、三和、水海道、勝田、auショップ下妻
資本金	1億円
売上高	156億円〔2011年度実績〕
従業員数	209名〔2012年4月1日現在〕
事業内容	自動車部品・用品・砥油・中古部品等販売、損害保険業務、移動通信機器の販売
株主	トヨタ自動車(株)、県内各トヨタ販売店

◆CSR方針

CSR宣言

私たちは、その事業活動を通じて、地域社会から将来に亘り信頼され、共に発展することを目指し、お客様第一主義に徹した優れた商品とサービスを提供するとともに、「企業の社会的責任」を果たすため、次の3項目を実践することを、ここに宣言いたします

コンプライアンス

法令の遵守をはじめ、正直で公正、公平で正しい行動を最優先とします

環境

未来に向けて、地球環境の保全に努めます

社会貢献

良き企業市民として、社会に貢献するとともに、すべての社員が誇りに思える企業となることを目指します

CSR基本方針

私たちは、法およびその精神を遵守し、正直な企業活動を通じて、地域社会に信頼される企業をめざし、以下4つのステークホルダー(利害関係者)のニーズを満たし、満足度を高めるべく事業活動を行い、地球環境、地域社会の持続可能な発展に貢献します

お客様

◆私たちは、「お客様第一主義」という信念に基づき、お客様が安全・安心にカーライフを送れるために、かつ、お客様のカーライフを豊かにするために、お客様に真に満足いただける優れた商品とサービスの提供に努めます

◆私たちは、「トヨタ販売店CSRガイドライン」等およびその精神を遵守するとともに「正直」を経営の基本として、お客様に信頼される企業活動を推進いたします

◆私たちは、「個人情報保護法」および、その精神を遵守し、お客様の個人情報保護の徹底に努めます

社会

◆私たちは、環境に配慮した企業活動を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、地域社会に信頼される企業をめざして、環境保全、改善の継続的な取り組みに努めます

◆私たちは、何よりも人を大切に考え、法令をはじめとする社会のルールを守ります

◆私たちは、地域社会との対話や交流を積極的に行い、信頼の獲得に努めます

◆私たちは、トヨタグループの一員として、交通安全対策に積極的に取り組みます

取引先

◆私たちは、取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共存共栄の実現に取り組みます

◆私たちは、独占禁止法をはじめとする関連法令および、その精神を遵守し公正かつ自由な取引を行います

◆私たちは、お客様や取引先などに対する贈答や接待については、受ける場合、行う場合とも良識の範囲内にとどめます

社員

◆私たちは、労働関連法令の遵守はもとより、社員が生き生きと働けるように相互信頼、相互責任の精神に則り、互いを思いやりそれぞれの考え方や立場を尊重します

◆私たちは、社員が誠実に仕事に取り組み、新しい価値の創造を目指すことができるよう個々の自己啓発・成長を支援します

◆私たちは、社員一人ひとりが能力を向上し発揮できるよう、安全で働きやすい職場環境を整備します

◆私たちは、当社の機密情報を適正に管理するとともに、会社の許可なく第三者に開示したり、業務以外の目的で私的に使用しません

◆環境方針

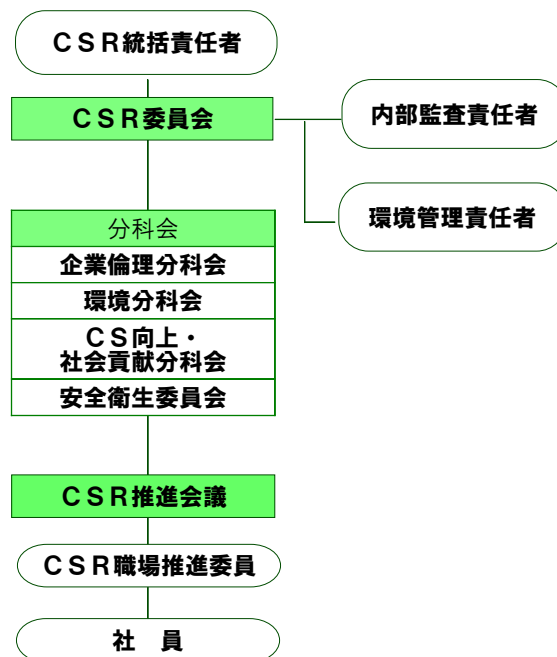
基本理念

私たちが立地している茨城の四季折々、豊かな自然に恵まれた環境を、かけがえない財産と認識し、環境に配慮した企業活動を経営の最重要課題の一つと位置づけ「地域社会に信頼される企業」をめざし、環境保全・改善の継続的な取り組みに努めることを宣言します。

基本方針

1. 事業活動が環境に与える影響を的確に把握し、環境目的・目標を定めて、全社を挙げて継続的な環境改善活動に取り組みます
2. 環境に関する法規制、トヨタ共販店環境ガイドライン、及び自治体等の要求事項を遵守します
3. 事業活動において、下記の項目を重点項目として定め、環境汚染の予防に努めます
 - ①省資源・省エネルギーの推進
 - ②リサイクルの促進・適正処理
 - ③廃棄物の削減
 - ④環境に配慮した商品の推進
 - ⑤グリーン購入の促進等
4. 環境監査を定期的を実施して、全従業員が常に環境に配慮した行動が取れるよう、環境教育を実施し、環境方針の理解と環境改善活動の維持向上を図ります
5. 地域社会およびお客様との協力関係を通じ、地域の環境保全・保護活動に協力します
6. 環境方針の社内への周知徹底を図ると共に、社外に対し情報を開示します

◆推進体制



「情熱・挑戦・行動 一人ひとりが主役となって次の時代を切り拓こう」

はじめに、昨年の東日本大震災では被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、当時当社の被災に対し、全力で復旧に取り組んだ社員の皆さん、そしてご支援ご協力して頂きましたトヨタ自動車(株)をはじめ、(株)タクティー、共販店各社、関係各社に対し、改めて厚く御礼申し上げます。こうした被災復旧復興を通して、お互いの助け合い、人と人の絆の大切さを改めて感じた次第です。

さて今申し上げました、東日本大震災や、さらにはタイで発生した洪水といった大災害によるサプライチェーンの寸断により、昨年は、お客様には供給面で大変なご迷惑をおかけしました。改めてお詫び申し上げますとともに、一方、社員の皆様についてはお客様フォローへの日々の取り組みの努力に感謝申し上げます。

さて今年ですが、創立30周年という節目の年が終わり、次の10年20年30年へ向けてスタートした年であります。しかしながら、どのような状況になっても、我々はお客様にとって無くてはならない、そしてお客様から選ばれる会社でなくてはなりません。

そのような中、更なる飛躍すべく、当社のスローガンを「情熱・挑戦・行動 一人ひとりが主役となって 次の時代を切り拓こう！」といたしました。

一人ひとりが当事者意識を持ち、従来の発想や手法にとらわれられないで更なる改善・改革・変革に情熱を持って挑戦し、そして行動し、新たな時代を切り拓いてほしいと思います。

「電力使用量前年比65% 目標達成」

原発事故に起因した電力不足に対応すべく、全社員で取り組んだ節電活動においては、電力使用量を2010年比70%と目標を設定し、全社員で取組んでまいりました。具体的な取り組みとしては、空調では使用ルールの見直しとして、オン・オフルールの設定、直射日光の緩和でグリーンカーテン拡大、空気循環では、扇風機導入、本部倉庫断熱塗装を施工しました。照明面では、蛍光灯の間引きに始まり、省エネ蛍光灯を全社に導入、又個別スイッチの取り付け(使用エリアのみ点灯)、OA機器関連では退社時に主電源を抜く等の取組みを行い、その結果全社で電力使用量前年比65%と大幅に達成することができました。これは、社員一人ひとりの節電の意識が高まり、地道な努力の成果に感謝する次第であります。



2006年6月にCSR宣言を行い、7年目を迎えました。
CSR活動も社員に浸透し更に推進した1年になりました。
この1年間の取組みを振り返ってみたいと思います。

「環境保全活動」

ISO14001を認証取得して8年が経過し、全社で環境活動の継続的改善も定着してまいりました。今年4月、環境方針を改定いたしまして、今後の環境変化に対応しながらより一層環境保全活動・3R活動を推進していきたいと考えております。

CO2排出量も先ほど述べた節電の取組の効果が大きく、又社用車のハイブリッドカー増車(合計17台)も積極的に行いました。その結果、05年比から見ますとCO2 462t、40%の削減がなされています。今年度も引き続き節電の取組みをはじめ、CO2排出量削減を図ってまいります。

「社会貢献活動の更なる推進」

社会貢献活動については清掃ボランティア・献血活動・エコキャップ回収等社員一人ひとりが積極的に活動に取り組んでくれた1年であったと思います。

清掃ボランティア活動では全社で実施している会社周辺の清掃活動も10年目に入り、千波・土浦花火大会後の清掃参加も6回を数えます。献血も定着し延べ100名を超える活動となっております。その中でエコキャップ回収においては社員に止まらず、社外の方々にも一緒になって取り組んでいただき、年間41万個(513人分のワクチン)と大きな成果を上げることが出来ました。あらためて支援活動へのご協力に対し、御礼・感謝申し上げます。

今年は創業30年が過ぎ31年目という次のステージへの新たな第一歩の年でもあります。

先般4月16日に当社「創業30年感謝の集い」において、来賓でお越しになった茨城県橋本知事から当社の地域に根付いた社会貢献活動に対してお褒めの言葉をいただきました。今まで取り組んできた活動を評価していただき、自信につながっております。今後、地域と共生して社会貢献活動を更に推進していくことをあらためて感じた次第であります。

特に今年度の清掃ボランティア活動においては、今まで参加していなかった各営業所の町内会等主催の清掃活動への積極的な参加を行っていきたくと考えております。



代表取締役社長

近藤 芳彦

2011年度の活動

主な活動

■環境

CO2排出削減活動を中心とした各活動とも、全社を挙げて取り組んでおり、日常業務に環境保全活動が定着しています。
また、2004年に認証取得し、9年目を迎えた環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001審査に2月に合格。継続的改善が認められています。

■社会貢献

各活動とも更に活性化。特に献血(詳細P8)やエコキャップ回収(詳細P9)では、成果が数字となって表れており、社員のやりがいにつながっています。

年月	環 境	社会貢献
通年	<ul style="list-style-type: none"> ■省エネ・省資源、廃棄物発生抑制 ■エコ商品の販売 ■リサイクル品の回収 ■環境関連法令の順守 	<ul style="list-style-type: none"> ■会社周辺清掃ボランティア ■防犯活動(安全安心まちづくり運動) ■エコキャップ回収活動 ■AED設置
2011年 4月		4/28 東日本大震災義援金募金
5月		
6月	<ul style="list-style-type: none"> ■環境月間 6/22 夏至ライトダウン 	6/3 茨城町「関東地方環境美化行動の日」参加 6/3 VSP花壇植栽
7月	7/7 セタライトダウン	7/18 交通安全協会へチャイルドシートを寄贈
8月		8/3 献血 8/3 中学生職場見学 8/6 「千波湖花火大会」清掃ボランティア
9月		
10月	<ul style="list-style-type: none"> ■内部環境監査 	10/3 「土浦花火大会」清掃ボランティア
11月		
12月		12/2 茨城町「散乱空缶等回収町民運動」 清掃ボランティア 12/2 VSP花壇植栽
2012年 1月		
2月	<ul style="list-style-type: none"> ■ISO14001定期審査合格 	2/7 献血
3月		

クールビズ
グリーンカーテン

トピックス

東日本大震災を受けて、全社一丸となって節電への取り組み 年間で前年比65%（当社比）と電力使用量を削減！

私たちは、3月11日の東日本大震災で社員も7割以上が被災、電気や水道などあらゆるライフラインが停止した中での生活を体験し、電気の大切さを改めて痛感いたしました。

これらの経験から、私たちがまず取り組むべきことは「節電」であると、全社員共通認識の下、年間の電力使用量を前年の30%削減・前年比70%と目標を設定し、全社的な節電の取り組みを開始いたしました。

取り組み内容は、右表の通り。電気使用量を換算し特に高い機器別にエアコン・照明・パソコンの使用ルールの徹底と併せ、電力使用量の「見える化」を目的に、Webを含めた掲示板を日々更新し、節電意識を高めました。

設備面についても、自分たちで出来ることから多くの対策を実施したことにより、前年比65%と目標を上回る大きな成果をあげることができました。

実施事項	
エアコン	◆使用ルール見直し（オン・オフルールの明確化）
照明	◆不使用エリアの消灯（蛍光灯個別スイッチ（紐）取付によるこまめな消灯）
	◆広告塔の電源オフ
パソコン	◆木・土曜はノー残業デー
	◆省エネ設定で使用
	◆長時間（2時間以上）の離席時は電源オフ
トイレ	◆退社時コンセントを抜く
	◆私用でのインターネット禁止（含む昼休み）
◆便座・ジェットタオルの電源オフ	
物的対策	
照明	◆蛍光灯間引き 全社33%（うち事務所51%）
エアコン	◆グリーンカーテンの拡大
	◆本社倉庫屋根に断熱セラミック塗装
	◆全社に扇風機導入



実績の見える化
社内掲示板で毎日実績更新

《設備面での主な取り組み》



使用箇所のみ点灯 4月
使用頻度の低いエリアの間引き
蛍光灯紐スイッチの取り付け
(本社営業所事務所)



空気循環効率アップ 6月
エアコンファンの取り付け
(事務所)



照度向上 8月
天井の採光拡大により照度向上
(本社倉庫開墾場)



室内温度抑制 6月
セラミック断熱ガイナ塗装 施工
(本社倉庫屋根)

2011年度の活動

環境目的目標の達成状況

■省エネ・省資源

特に電力使用量の削減では、室温(夏28℃・冬22℃)管理、不要照明の消灯、NO残業DAYの推進等に積極的に取り組んでまいりましたが、昨夏の猛暑の影響で目標は未達成。

■リサイクル品回収促進

目標は下回るものの、お客様の協力度は年々上昇傾向。

■ムダの削除

独自の取組みにより、作業効率が向上しています。

■エコ商品の販売

推販企画と環境意識の高まりが相まって、順調に販売を伸ばしており、環境配慮商品比率も向上。

評価基準 ○: 目標達成 △: 目標未達成・前年超え ×: 何れも未達成

項目	単位	目標	実績	達成率	評価
■省エネ・省資源					
電力使用量の節約					
全社	kwh	456,100	433,431	105	○
本社	kwh	301,300	298,536	101	△
倉庫	kwh	185,800	176,276	105	○
営業所	kwh	154,800	134,805	115	○
LPガス使用量の節約					
倉庫	m ³	28,694	21,715	132	○
社用車のエコドライブ推進					
ディーゼル車	km/リットル	12.4	12.1	98	△
ガソリン	km/リットル	14.2	14.4	101	○
配送車	km/リットル	6.7	7.2	107	○
■リサイクル品回収促進					
バンパー回収率向上					
内販	%	90.0	77.5	86	△
直売	%	95.0	92.3	97	△
卸売	%	60.0	42.3	71	△
携帯電話回収率向上	%	40.0	31.1	78	×
■ムダの削除					
返品削減					
内販	%	1.3	1.2	108	○
直売	%	1.0	1.1	91	△
卸売	%	1.7	1.8	94	△
出荷ミスの削減					
本部	百万分比	40.0	12.4	322	○
損傷品の削減					
全社	百万分比	7.0	6.8	103	○
■エコ商品の販売					
省燃費オイル(比率)					
内販	%	60	55.0	93	△
省燃費タイヤ					
内販	本	23,200	67,930	293	○
グリーンタイプCAFの拡販					
内販	個	116,200	123,295	106	○
外販	個	12,200	13,468	110	○

環境月間の取組み

期間: 2011年6月

■電気使用量削減

- ①リフレッシュデー(毎週木・土曜日)の徹底
- ②電気メーター計測による日当たり使用量監視

・時間外勤務時間(年間1人当り) 10.3h(10年)⇒6.2h(11年)
・6-7月電力使用量
・全社 前年比 57% 本社54% 10営業所64%

■ライトダウンキャンペーン参加

(6/22夏至ライトダウン・7/7七夕ライトダウン 20~22時の消灯)

- ①会社での取組み(19時までに完全業務終了、消灯)
- ②社員の家庭での取組み(20~22時消灯、各家庭で任意で取組み)

会社: 両日とも19時に完全消灯
家庭: 6/22⇒103家庭(53%)・7/7⇒101家庭(52%)がライトダウンを実施

■その他

- ①クールビズ
・5-10月期間ノーネクタイ、室温28℃設定
- ②グリーンカーテン
・本社厚生施設へ琉球朝顔、ゴーヤ、パッションフルーツのカーテン ならびに4営業所で実施



本社



下館営業所



三和営業所



水海道営業所



勝田営業所

各所でたくさんの花や実がなり、清涼感と元気を与えてくれました

清掃ボランティア

■会社周辺清掃ボランティア

各事業所ごとに毎週木曜日始業前に会社周辺の清掃作業を実施。



(千波湖花火大会清掃)

■地域の清掃ボランティア活動への参加

名称	実施日	参加人数
千波湖花火大会清掃	8月6日	65名
土浦花火競技大会清掃	10月2日	38名



(土浦花火競技大会清掃)

■ボランティアサポートプログラム

本社で茨城町小幡6号国道約1.5km区間の歩道を、毎週木曜日にゴミ拾い・除草作業を実施。また、年に2回植樹帯の花壇へ草花を植栽。

名称	実施日	参加人数
関東地方環境美化行動の日	6月3日	62名
茨城町散乱空缶等回収町民運動	12月8日	61名



(ボランティアサポートプログラムでの花壇への植栽)

(2008年、国土交通省・茨城町・当社 三者協力の清掃活動協定を締結)

献血活動

2009年7月献血サポーターに登録。「年間100名献血」を推進しています。

3年目となる2011年度は、献血推進の意識が定着し、目標の「100名献血」を2年連続で達成することができました。本社献血バスでは、献血可能な社員の大多数や取引先に来た方にご協力いただきました。

営業所においては、営業所長自ら率先し、巡回バスを利用して献血を行い、所内への献血活動の活性化に深めています。

区 分	献血人数	
訪問献血バス (本社)	8月3日	33名
	2月7日	29名
巡回献血バス及び献血ルーム	43名	
合計	104名	



(本社での献血)



社会貢献活動

平成23年度エコキャップ回収実績41万個（ポリオワクチン513人分）

エコキャップ回収は2009年4月より活動スタートし、社員とその家族により初年度年間で5.8万個を回収しました。

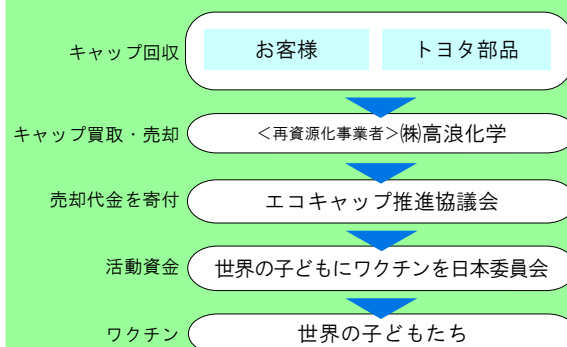
活動3年目の2011年度は創業30周年を記念して「回収実績を30万個にしよう」を目標に掲げ活動してまいりました。全社員一丸となって回収をし、友人・知人、お客様へも「キャップを集めて、恵まれない国の子供たちにワクチンを送る活動をしよう！」とお声かけしてまいりました。

その結果、多くの皆様にご賛同いただき、予想を大きく上回る数のキャップが集まりました。2011年4月から2012年3月までの1年間で、41万個。ポリオワクチンにして約513人分の数量を集めることができました。

この4月までに、回収業者の高浪化学㈱を通じ、エコキャップ推進協議会へ寄贈いたしました。

今後もお客様と一緒に活動を続けてまいります。

～世界の子供たちにワクチンが届くまで～



トヨタ純正チャイルドシートを交通安全協会に寄贈

当社の創立30周年記念行事の社会貢献活動の一環として、トヨタ純正チャイルドシートを茨城県交通安全協会に30台の寄贈を行いました。

贈呈式は7月18日に茨城町のロックシティショッピングモールでの夏の交通事故防止県民運動周知キャンペーンイベントに先立ち執り行われ、県交通安全協会照山会長へ授与されました。

贈呈したチャイルドシートは、要望のあった県内の地区交通安全協会員様に貸し出されるそうです。「チャイルドシート装着率の向上に努める活動の中、交通事故防止のため大切に使用して頂きます」と喜びの声をいただきました。

今後も、自動車関連会社として地域の交通安全に貢献できるよう、活動を行ってまいります。



災害時義援金・救援金募金活動

東日本大震災では、特に東北地方に甚大な被害もたらされました。当地茨城県についても、津波で住居を失った方、液状化現象で家屋が傾き居住が困難な方など、今だ大勢の方々が生活に困窮しているという状況です。

当社でも社員の約7割が建物被害をうけ、中には家屋半壊という社員もおりますが、社員の中から「私たちよりもっと困っている人が大勢いる、私たちにできる支援を！」という声があがり、今回募金活動を行いました。

結果、社員から約15万円の義援金が寄せられ、これと会社

からの義援金15万円を合わせた30万円を4月28日、茨城新聞文化事業団へ義援金として寄付いたしました。

なお、当事業団は、義援金の約半額を茨城県内の被災者の義援金にあてられるそうです。

実施月	災害名	寄託先	金額
4月	東日本大震災	日本赤十字社	30万円

2005年からの環境保全活動と成果

省資源・省エネルギー

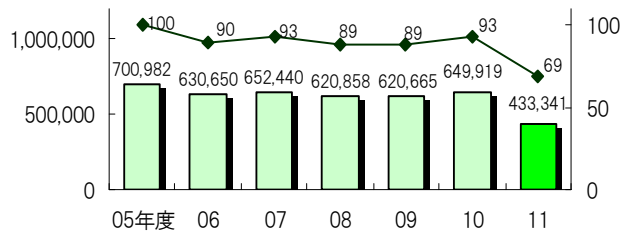
電気使用量

取り組み

- ・クールビズ(5-10月)
- ・リフレッシュデー(No残業day)の推進(木・土曜日)
- ・AC温度管理の徹底(夏期28℃・冬期22℃)
- ・こまめな消灯(紐スイッチ取り付け)
- ・蛍光灯間引き(全体の33%)
- ・省エネタイプ照明器具の導入

実績

(電気使用量 単位:kwh/%)



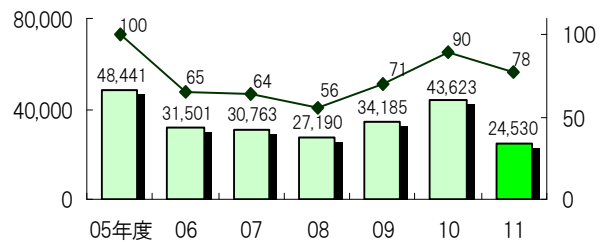
倉庫空調用ガス使用量

取り組み

- ・AC温度管理の徹底(定期巡回)
- ・ビニールカーテン設置
- ・倉庫屋根断熱塗装

実績

(LPG使用量 単位:m³/%)



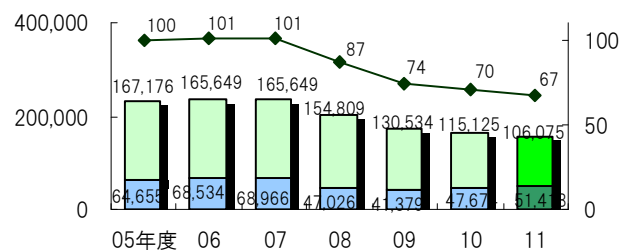
燃料(ガソリン・軽油)使用量

取り組み

- ・エコドライブの推進
 - 燃費計測による監視(年間)
 - エコドライブセミナー受講
- ※いばらきエコドライブ推進協議会主催の実体験セミナー
- ・社用車のハイブリットカー12台 代替推進

実績

(ガソリン・軽油使用量 単位:l/%)



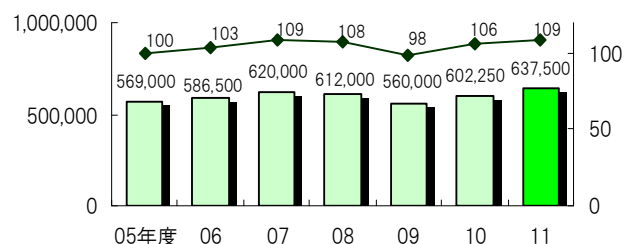
コピー用紙使用量

取り組み

- ・ペーパーレス会議
- ・裏面利用
- ・再生紙活用

実績

(コピー用紙使用量 単位:枚/%)



廃棄物発生抑制

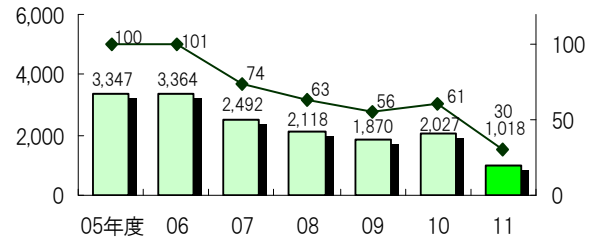
一般廃棄物

取り組み

- ・分別の徹底による紙ゴミのリサイクル促進

実績

(一般廃棄物排出量 単位:kg/%)



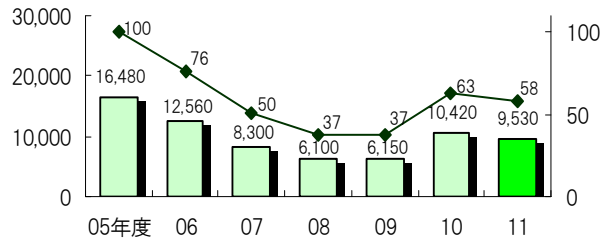
産業廃棄物

取り組み

- ・梱包材のメーカー返却の推進

実績

(産業廃棄物排出量 単位:kg/%)



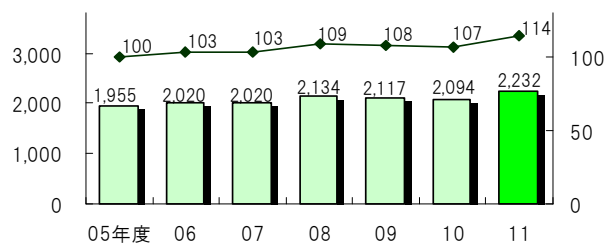
オイルのバルク配送推進

取り組み

- ・2002年度バルクオイル配送開始、2009年度には、ローリー車を1台増車し、円滑な供給を促進
- ・2009年6月より省燃費オイルへの切り替え、拡販を推進
- ・2010年8月1台増車、計4台で運行

実績

(バルクオイル販売量 単位:kl/%)



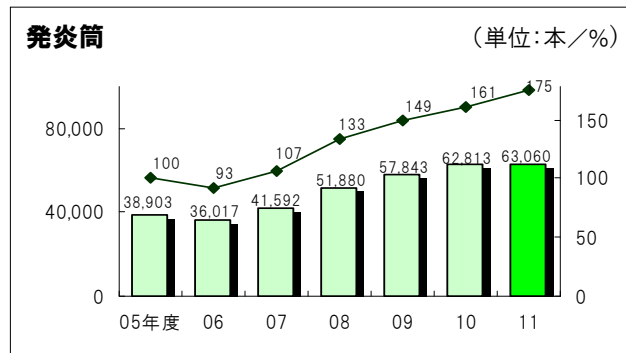
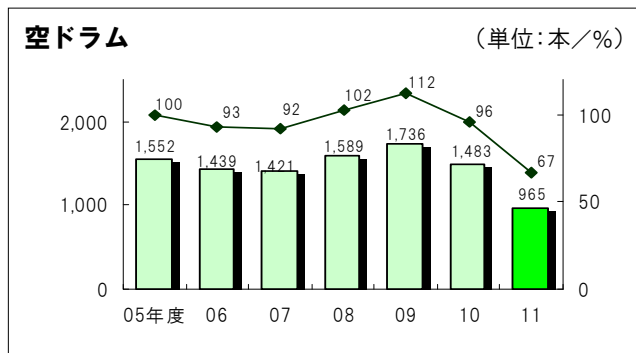
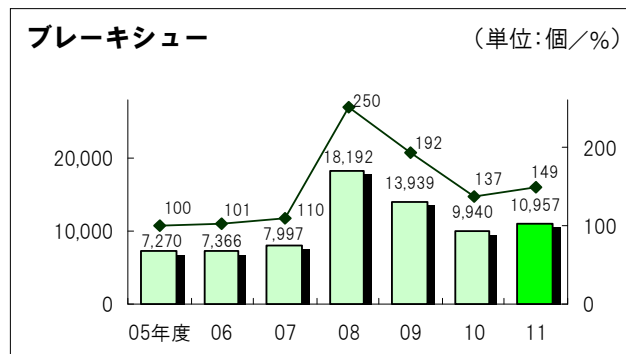
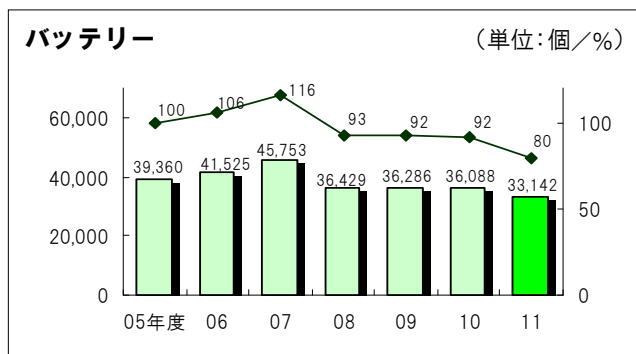
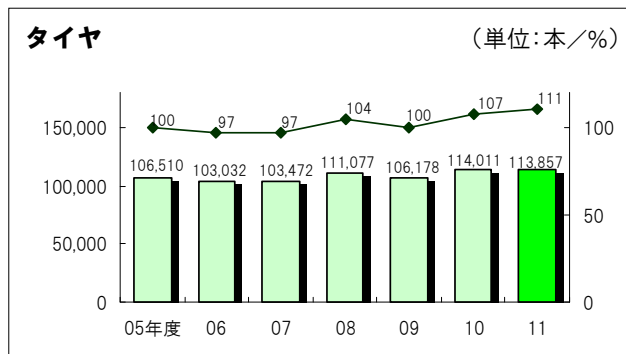
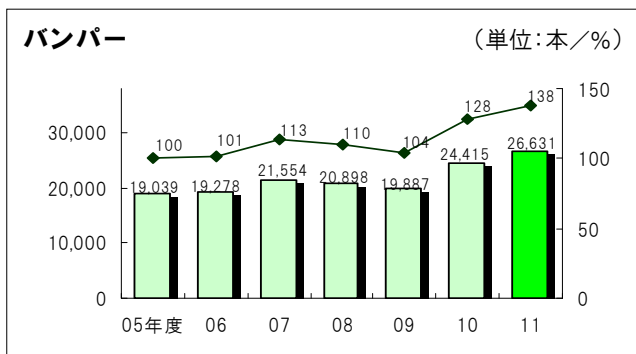
2005年からの環境保全活動と成果

廃棄物発生抑制

■ 実績
— 05年比

使用済部品の回収

■ 取り組み トヨタ環境ガイドラインに則り、使用済み部品の回収を適正かつ積極的に行っています。



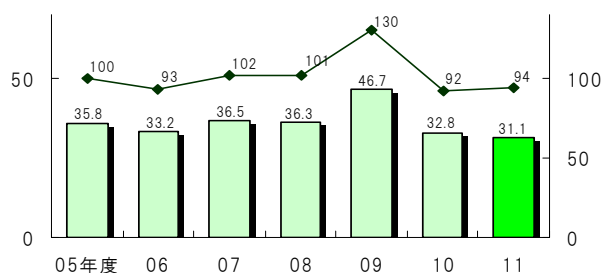
使用済携帯電話の回収 (auショップ下妻)

■ 取り組み

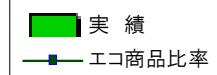
店頭回収BOXを設置、来店のお客様に携帯電話リサイクル協力をお願いします。

■ 実績

(使用済携帯電話回収率 単位:%)

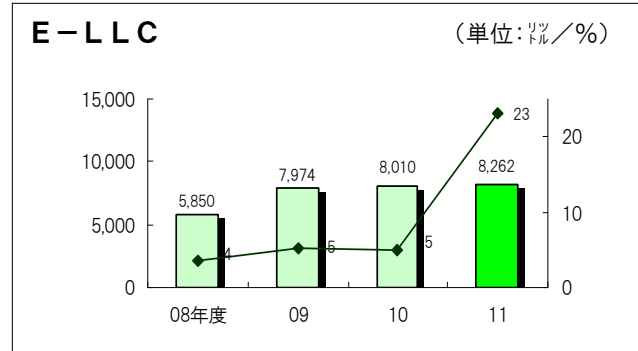
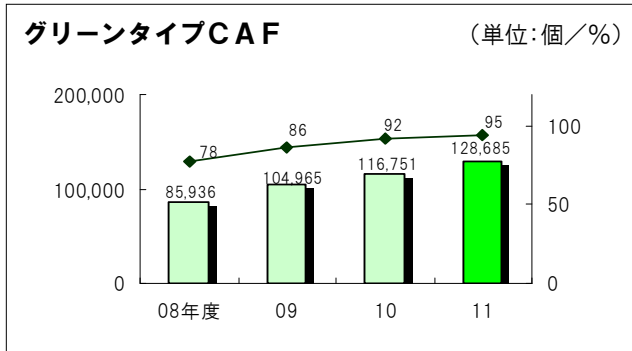
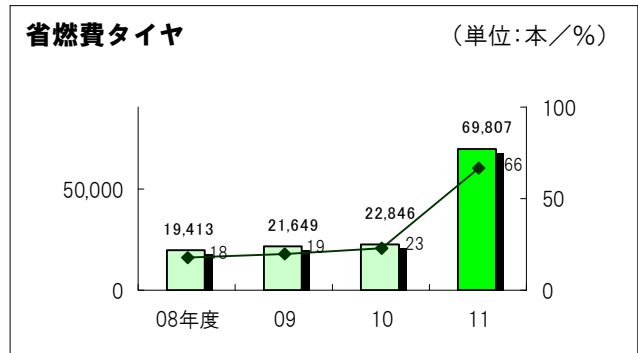
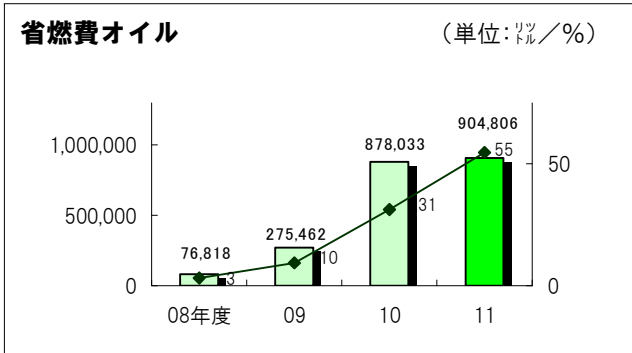


主なエコ商品の販売



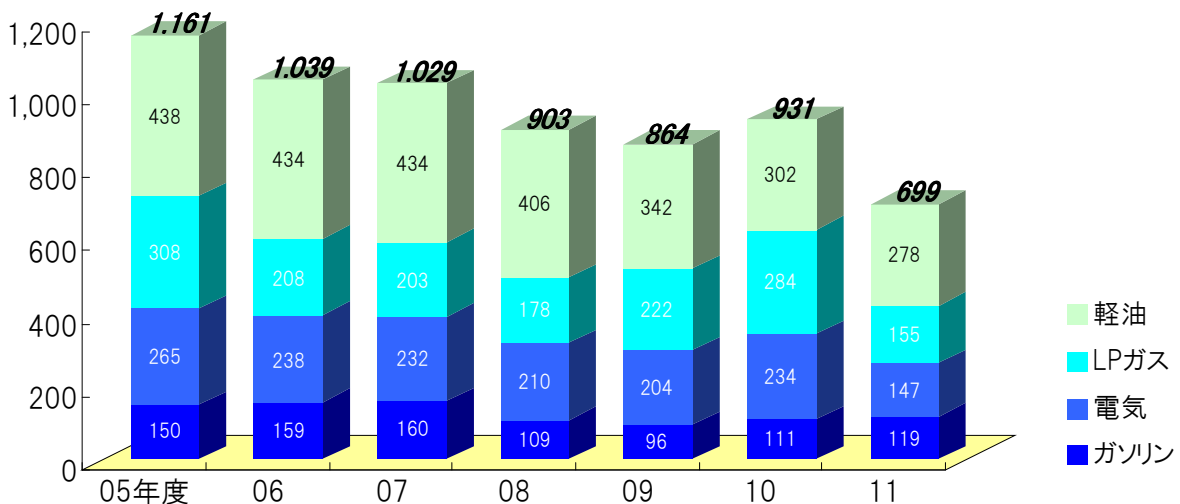
エコ商品の販売

取り組み 環境にやさしい商品の拡販に努めています。



CO2削減効果

CO2排出量の推移



11年度のCO2排出量は699tで05年比で426t、40%の削減となりました。

削減量は立木換算で、杉の木 33,000本分の植林に相当します！

(杉の木が1年で平均約14kgのCO2を吸収するものとして換算した場合)

トヨタ部品茨城共販株式会社

〒311-3157
茨城県東茨城郡茨城町小幡702-1
TEL:029-292-2431
FAX:029-291-0591
<http://www.ibaraki-kyohan.jp>

発行部署 総務部 CSRグループ

認証取得



ISO14001
JAER0553